



外國宣傳情報 第二百七十七號

昭和二十七年五月十五日
情報局第一部第二課

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、敵國又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的な報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎獨海軍當局者も珊瑚海戰果を皮憎る

△オーストラリア電臺 五月十五日 英語放送

獨逸側は、日本は珊瑚海を戦に於ける聯合國側損耗を過大に見積つてゐることを述べてゐる。即ち昨日の放送で獨逸海軍のスポークスマンは、日本の發表は誇張されており、例へば戦艦のオースパイット撃沈の如きはそうである。珊瑚海を戦は聯合國側空軍が勝利を収めてゐることを語つた。

しかし東京當局は依然自國海軍の勝利を誇つており、眞珠灣、ジャバ沖、今回の珊瑚海等の海戦で太平洋に於て將來大海戦が行はれ得る可能性は除かれたのであり、ために米國は

（以下は右ページの文字が非常に淡く、正確な転写が困難です。概略として）
...
...
...

今日主要艦船は半分しか残らないと主張してゐる。

ニューヨーク。タイムズ紙は過去四年に亘る支那戦線で、日本はヒットラーがソ聯軍を撃滅したと宣傳したより以上に支那軍機を大言してゐると右日本の主張を嘲笑してゐる。

△ロンドン電 五月十五日 英語放送

シドニーからの通報によれば、米爆撃機が機銃した珊瑚海海戦の寫眞が到着した。この寫眞によつて、悪天候のため戦果をあげ得なかつたといふ日本の辯解を曝露した。即ちこの寫眞が示す通りその日の天氣は晴天であつたのである。

◎援ソ米英物資尙漸増

△オーストラリア電 五月十五日、英語放送

今年冬期間にロシア北部諸港に到着した米英軍需物資は百五十萬噸に上つた。これはP U通信アンカラ駐在員の報告であるが、尙ほの外に毎日イランより二十臺の自動車による輸送が行はれ多量の物資が鐵道で運び込まれてゐり、且つこの物資の量は逐次増加しつつあることである。

◎香港上陸の米英人

△香港電 五月十四日 英語放送

香港に於ける食糧物資は漸次減少を辿りつつあるが輸入の見込なきため憂慮すべき事態に別つてゐる。最近の報道によると日本は米人は上海に、英人は香港に、何人は澳門に夫々集中する事らしく、香港在住米人は上海に、上海の英人は澳門に移されてゐるといふ。

◎南方戦線の米英空軍攻撃旺盛

△ロスアンゼルス電 五月十五日

（メルボン電）米機長距離爆撃機は昨日南印アムボyna島及ニューブリテン島のラバウルを襲撃した。明らマツクアサヤ司令部のコミュニニケによれば南印海軍重要基地アムボyna攻撃に於て日本艦一隻を撃沈し、二隻に命中弾を與へた。又聯合空軍の投下せる爆弾は飛行場カッ走路上に並列してあつた日本機十五機を撃墜し、一方日本空軍はモレスビー空軍を企圖したがその際敵機二機が撃墜された。被害は輕微であつた。アムボyna空軍は二日日本軍が同島基地を占領して以來聯合空軍の行つた最初のものでは